



株式会社 鳥羽洋行

第71期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

先端技術で
社会と産業の進化を支える



東証JASDAQ上場
証券コード:7472

株主の皆様へ

最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、
ありがたく厚くお礼申しあげます。

ここに、当社第71期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)
の報告書をお届けするにあたり、当期の概況をご報告する
とともに、ひとことご挨拶申しあげます。



当期の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境を概観しますと、米国経済は底堅く推移したものの、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の失速や英国のEU離脱問題など減速傾向が継続しておりました。加えて当年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響もあり、世界経済全体としては先行きの見通せない極めて不透明な状況となっております。また、わが国経済は輸出や生産の弱さが続いていたものの、底堅い内需に支えられ緩やかな回復傾向で推移しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により経済活動の停滞が避けられない状況となっております。

このような経済環境下で当社グループの国内販売は、自動車の出荷台数が前年を下回る環境であったものの、自動車の次世代技術(CASE)の導入等により、自動車・車載部品に関連する一部得意先への販売は好調を維持しました。しかし、半導体関連企業の設備投資の抑制やスマートフォンの需要落ち込みの影響を受け、半導体及び半導体・液晶製造装置関連や電子部品に関連する得意先への販売が減少しました。また、当社グループの国外販売は、人件費高騰を背景とした自動化・省人化のための

設備投資が継続したものの、米中貿易摩擦の影響及びスマートフォン市場全体の成長鈍化の影響により苦戦を強いられました。

以上の結果、売上高は261億97百万円(前期比9.9%減)、営業利益は13億28百万円(前期比29.9%減)、経常利益は14億35百万円(前期比28.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は9億72百万円(前期比29.0%減)となりました。

株主の皆様に対する配当方針につきましては、安定的な配当の継続を目指すとともに、株主の皆様に対する公明性を明確にした業績連動型の配当性向を基本と考えております。当期の期末配当金につきましては、今後の事業展開などを勘案し、1株につき120円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2020年6月
代表取締役社長 鳥羽 重良

取扱商品実績

部門別概況

制御機器

生産工場の構成には欠かせない

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体及び半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、前期後半より続く半導体市場の低迷の影響から半導体及び半導体・液晶製造装置や電子部品に関連する得意先からの制御機器の受注が減少しました。さらに、当社グループの大口得意先である物流システムに関連する得意先からの受注も大きく減少しました。

以上により制御機器全体の売上高は前期を下回る66億31百万円（前期比20.7%減）となりました。

FA機器

工場の自動化・コストダウンを実現

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、製造現場における人手不足、人件費の高騰を背景に、自動化・省人化のための設備投資ニーズは高かったものの、米中貿易摩擦の長期化や半導体市場の成長鈍化により市場全体の設備投資は低調に推移し、デジタル機器、自動車・車載部品及び半導体・液晶製造装置に関連する得意先からの産業用ロボットの受注が減少しました。さらに、前期好調であった表面実装システム（マウンター・検査機等）の受注も伸び悩み結果となりました。また、国外では電子部品に関連する得意先からの産業用ロボットの需要も減少傾向で推移しました。

以上によりFA機器全体の売上高は前期を下回る145億79百万円（前期比4.9%減）となりました。

産業機器

生産組立て作業に使用されている

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、半導体市場低迷の影響を受けたものの、当社グループが取り扱う半導体関連向けろ過フィルターのニーズは高く受注が増加しました。また、主に自動車・車載部品の得意先向けに販売しているナットランナーの販売量も増加しております。しかし、国内の設備投資需要の減速が影響し、その他の産業機器の受注が大幅に減少したことで、なかでも半導体・液晶製造装置や電子機器、精密機器関連の得意先向けのアルミフレームの販売が大きく減少するにいたっております。

以上により産業機器全体の売上高は前期を下回る49億86百万円（前期比7.1%減）となりました。

売上高

当期（連結）

2020年3月期



前期（連結）

2019年3月期



()内は構成比

財務ハイライト

業績の推移

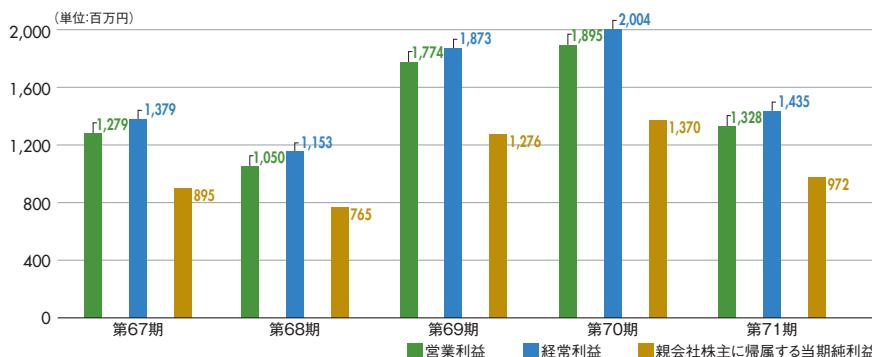
売上高 **261.97** 億円

営業利益 **13.28** 億円 経常利益 **14.35** 億円 親会社株主に帰属する当期純利益 **9.72** 億円

売上高



営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金[※]
配当金及び配当性向 **120** 円

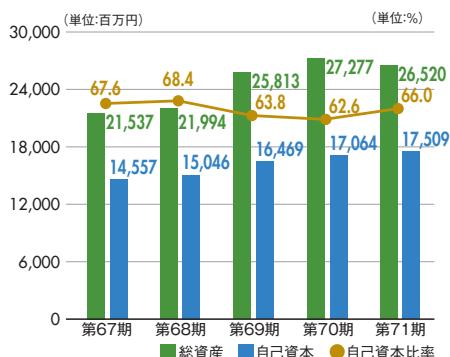
総資産
資産 **265.20** 億円

ROE ROA
利益率 **5.6%** **3.6%**

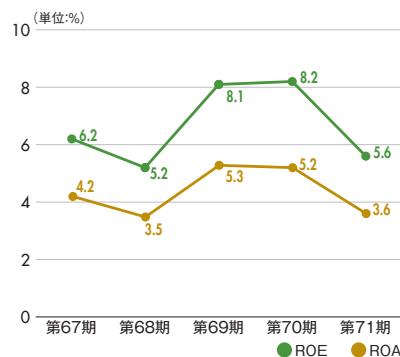
配当金/配当性向



総資産/自己資本/自己資本比率



ROE/ROA



※第67期の配当金100円には、普通配当金60円と創業110周年記念配当40円が含まれております。

(注) 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、第69期に係る総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2020年3月31日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	20,896,725	22,163,924
固定資産	5,623,914	5,113,840
有形固定資産	1,961,220	1,983,935
無形固定資産	39,390	35,354
投資その他の資産	3,623,302	3,094,550
資産合計	26,520,639	27,277,765
負債の部		
流動負債	8,690,532	9,898,699
固定負債	320,465	314,567
負債合計	9,010,998	10,213,266
純資産の部		
株主資本	16,820,023	16,360,473
その他の包括利益累計額	689,617	704,025
その他有価証券評価差額金	662,236	651,911
為替換算調整勘定	27,381	52,114
純資産合計	17,509,641	17,064,498
負債及び純資産合計	26,520,639	27,277,765

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	前期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
売上高	26,197,657	29,066,491
売上原価	22,495,097	24,782,089
売上総利益	3,702,559	4,284,401
販売費及び一般管理費	2,373,782	2,389,244
営業利益	1,328,777	1,895,157
営業外収益	113,118	115,688
営業外費用	6,585	6,369
経常利益	1,435,310	2,004,476
特別損失	290	858
税金等調整前当期純利益	1,435,019	2,003,617
法人税、住民税及び事業税	454,932	633,741
法人税等調整額	7,919	△291
親会社株主に帰属する当期純利益	972,168	1,370,167

I R 情 報

当期のIR活動実施状況

2019年3月期 決算説明会

(2019年5月14日 日本証券アナリスト協会にて開催)

個人投資家向け会社説明会in名古屋

(2019年8月31日 大和インベスター・リレーションズ主催)

個人投資家向け会社説明会in東京日本橋

(2019年9月9日 野村インベスター・リレーションズ主催)

2020年3月期 中間決算説明会

(2019年11月21日 日本証券アナリスト協会にて開催)

個人投資家向けIRセミナーin東京丸の内

(2019年11月22日 三井住友信託銀行主催)

※2020年3月7日開催予定であった「個人投資家向け会社説明会in東京」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。



2019年8月31日 個人投資家向け会社説明会in名古屋



2019年11月22日 個人投資家向けIRセミナーin東京丸の内

会社情報

会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	1949年12月14日(創業：1906年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルティング。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。

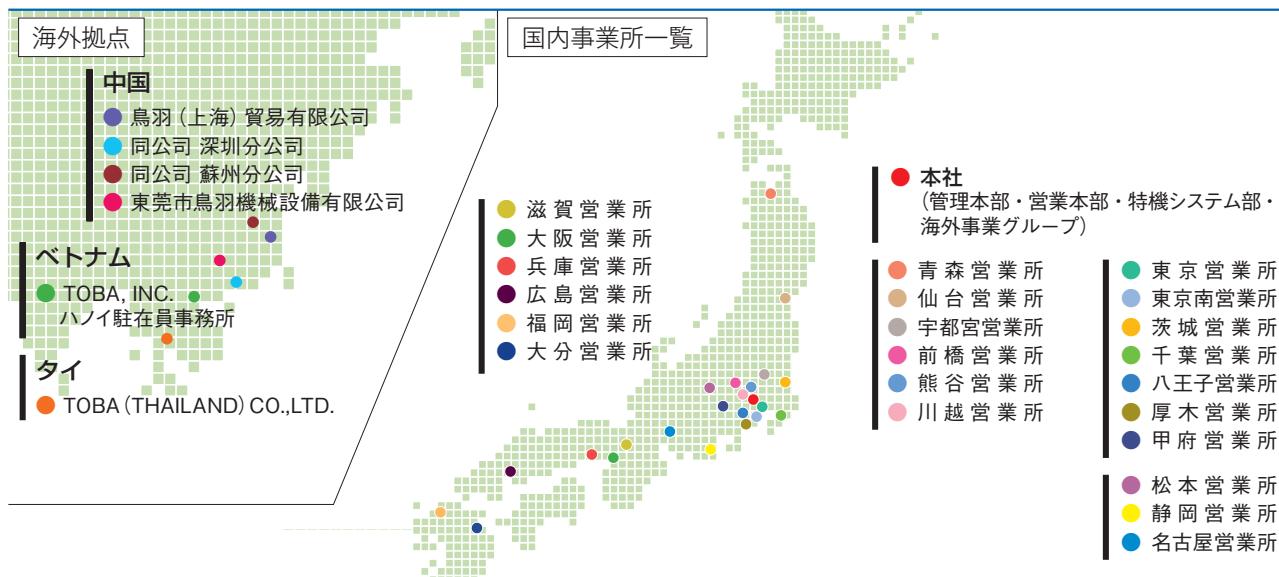
従業員数 連結245名 単独218名(2020年3月31日現在)

(注) 従業員数は、連結会社から連結会社外への出向者を除いた従業員数であります。

役員 (2020年6月19日現在)

代表取締役社長	鳥羽重良
常務取締役	遠藤稔
取締役	千國哲王
取締役	島津政則
社外取締役	谷逸夫
社外取締役	小川隆之
常勤監査役	酒井孝弘
監査役	廣瀬勝一
監査役	森真一
監査役	早崎信

営業ネットワーク (2020年3月31日現在)



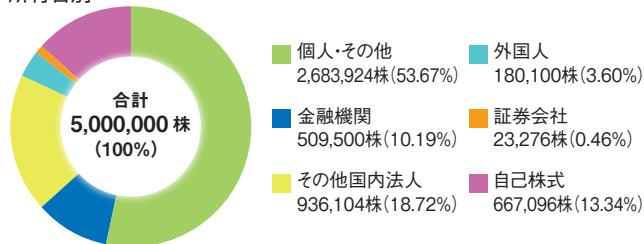
株 式 情 報 (2020年3月31日現在)

株式数及び株主数

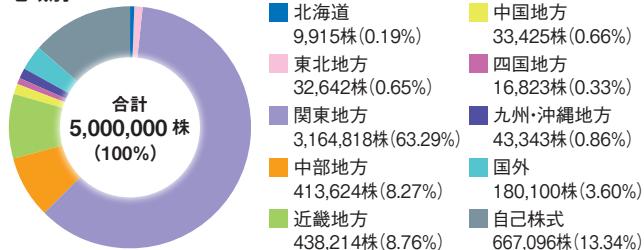
発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	5,000,000 株
株主数	4,827 名

株式数分布状況

所有者別



地域別



株主還元方針及び株主優待制度

株主還元に関する基本方針

- 1株当たりの配当金40円を下限とする。
- 連結配当性を35%以上とする。
- 自己株式の取得等の間接的な株主還元についても機動的に対応する。

株主優待制度のお知らせ

毎年9月末日現在の株主様に、「QUOカード」を次の基準により進呈します。

所有株式区分



(注) 1. 継続保有3年以上の確認にあたっては、毎年9月末日の株主名簿に同一の株主番号で、連続して4回以上記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。
2. 当社QUOカードは、環境保全のため発行金額の一部を株式会社クオカードを通して「緑の募金」へ寄付し、緑化推進に役立てていただいております。

第71回定時株主総会決議ご通知

2020年6月19日開催の当社第71回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

- **報告事項**
1. 第71期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第71期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

■ **決議事項**

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、当期の期末配当金は、1株につき金120円と決定いたしました。

第2号議案 取締役6名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役に鳥羽重良、遠藤稔、千國哲王、島津政則、谷逸夫、小川隆之の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査役に酒井孝弘氏が選任され就任いたしました。

第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

本件は、原案どおり承認可決され、退任取締役 三浦直行氏に対し在任中の功労に報いるため、当社所定の基準に従い、相当額の範囲内において退職慰労金を贈呈することとし、その具体的な金額、贈呈の時期、方法については、取締役会に一任されました。

第5号議案 役員賞与支給の件

本件は、原案どおり承認可決され、当事業年度末時点の社外取締役を除く取締役5名に対し、役員賞与総額30,000,000円を支給することと決定いたしました。

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月	郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。		
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日	単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	公告方法	電子公告により行います。 (http://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		

住所変更、単元未満株式の買い取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



三井住友信託銀行

〒112-0005 東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎(03)3944-4031 <http://www.toba.co.jp/>